

政策	11 豊かな自然環境の保全						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民、職員						
施策が目指す姿	地域の貴重な財産である豊かな自然環境が次世代に引き継がれる。 地球環境にやさしい循環型社会の形成が図られる。 市民一人ひとりによる自発的な環境活動が展開される。						
成果指標	環境保全施策に対する市民満足度...5年間(H30～34)で60%へ増加(現状値56.8%) 環境保全に取り組んでいる市民の割合...5年間(H30～34)で100%達成(現状値97.5%)						
目標達成状況		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標1 [%]	予定				60.00	/
		実績					
	成果指標2 [%]	予定				100.00	/
		実績					
	成果指標3 [%]	予定					/
		実績					
	成果指標4 [%]	予定					/
実績							
トータルコスト (千円)	予定	2,155,639	1,862,295	1,833,623	0	0	/
	実績	1,827,214	1,854,027	1,833,623	0	0	
内部評価	貢献度	豊かな自然環境の保全には市民の参加と協力が不可欠であり、市民参加割合が100%達成となれば大きく貢献すると考えられる。					
	達成状況	単位施策の達成状況が順調に推移しているため、目標達成が見込まれる。					
	課題	資源の循環型社会形成のために、市民や企業が積極的に取り組めるよう意識づくりが必要である。					
	取組方針	自然環境の保全は市民・企業の協力が必要であるため、市民・企業へ事業の更なる周知や啓発を実施し、目標達成を目指す。					
外部評価	<p>直近でレジ袋の有料化が開始されたが、このように、国の環境施策を有効に活用することは、必要であると考え。機運が盛り上がってきているところで、エコパックのコンテストなどを実施してはどうか。また、保育園等や小学校とタイアップし、両親へのエコバックプレゼントなども良いと思う。小さいころから、環境への教育、ひいては両親への教育にもつながると思われるので、検討をお願いしたい。</p> <p>不法投棄問題に関して、監視員の回収は無料での回収といった面もあり、不法投棄を減らすといった点では、矛盾がある。やはり、罰則規定の強化は必要ではないか。</p> <p>新エネルギーの推進といった点では、太陽光エネルギーに代わるものを市として見つけていくことも必要である。</p>						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	1101	環境の保全				1,212,938	100
	1102	循環型社会の形成				617,398	100
	1103	新エネルギーの推進				23,691	100

基本施策評価表 補表

施策	11 豊かな自然環境の保全		
区分	妥当性	妥当	豊かな自然環境の保全に対する評価妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業の集約等を実施することによりコスト削減の余地がある。
	受益者負担	適正	受益者負担はないため妥当である。
	上位貢献度	有効	事業を適正に実施することにより施策への貢献度は有効である。
	類似事業の有無	無	自然環境保全の類似事業はない。
	成果向上の余地	有	事業を適正に実施することを推進することにより成果は向上する。
内部評価	貢献度		
	達成状況		
	課題	市民が自治会の活動として、積極的に取り組めるような場の提供を考える。	
	取組方針	外国人に対する環境教育(ごみの出し方の講習)を継続して実施する。	